

除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性トウモロコシ MON87419 系統（食品）に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

「除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性トウモロコシ MON87419 系統」については平成 28 年 8 月 22 日付けで遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

本申請品目は、除草剤ジカンバ及びグルホシネートに耐性を付与するために、改変 *dmo* 遺伝子及び *pat* 遺伝子を導入したものである。

改変 *dmo* 遺伝子はグラム陰性細菌の *Stenotrophomonas maltophilia* に由来し、改変 *dmo* 遺伝子より産生される改変 MON87419 DMO タンパク質が除草剤ジカンバを除草活性のない化合物に変換することで、植物に除草剤ジカンバに対する耐性が付与される。

pat 遺伝子はグラム陽性細菌の *Streptomyces viridochromogenes* に由来し、*pat* 遺伝子により産生される PAT タンパク質が除草剤グルホシネートを除草活性のない化合物に変換することで、植物に除草剤グルホシネートに対する耐性が付与される。

3. 利用目的及び利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来のトウモロコシと相違はない。

4. 諸外国における申請等

申請国等	申請・確認年月	申請先
米国	2016年3月確認終了	米国食品医薬品局 (FDA)
カナダ	2016年2月確認終了	カナダ保健省 (HC)
オーストラリア/ニュージーランド	2015年8月申請	オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ)